



編集発行

☎912-0434

大野市宝慶寺1-2

宝慶寺奉賛会事務局

振替00720-2-11671

TEL 0779-65-8833

FAX 0779-65-8103

Eメール hokyoji@happytown.ocn.ne.jp



滋賀県木之本渡岸寺蔵
国宝十一面観世音菩薩像

観音様
—その由来—

オックスフォード大学
仏教学研究所研究員
ヴァイクトリア・
ブライアン(博士)

観音様が仏像である以上、
仏像とはなんであるかを理解
しなければなりません。イン
ドにおいては釈尊の死後三百
年間、仏像は存在しませんでした。
なぜなら、釈尊があまり
にも偉大ゆえ、形として描
くことは禁じられたからなの
です。

これにかわって存在したの
は、石に描かれた釈尊の「足
跡」だったのです。あるいは、
仏舎利をおさめた円形の塔で
あったのです。ところが、ア
レクサンダー大王がインドに
侵入して以来、インドの仏教
徒はギリシア彫刻の存在を知

ただわが身をも心をもはなちわす
れて、佛のいへになげいれて、佛
のかたよりおこなはれて、これに
したがひもてゆくとき、ちからを
もいれず、こころをもつひやさず
して、生死をはなれ、佛となる。
(正法眼蔵 生死)

…坐禅に身と心を投げ入れて
思量をやめて、佛となる

り、大いに影響を受けました。
それによつて、やがては仏像
を造ることになったのです。

ここで重要なポイントは、
仏教の仏像は「神」ではなく、
したがって偶像崇拜ではあり
ません。

あくまで、自分自身に内蔵
されている可能性を一時的で
あつても、外に在るものとし
て崇拜する対象としたのです。
これを仏教語でいうと、仏像
は「方便」ということになる
のです。

そして、観音様の「方便」
とは言うまでもなく慈悲のあ
らわれです。

ただ、この時の慈悲という
のは、上からの視線で人を憐
れむのではなく、相手の立場
に立ち苦しみを味わい心を寄
せ、手を差し伸べる意味合い
があるのです。

現在、我々が直面する地球
の環境問題や紛争、さらには
多くの人間が苦しむ中であつ
てないほど、自分たちの中に
内蔵される慈悲の心を引き出
す時期が来ているのです。た
とえ観音様の存在が「方便」
であつたとしても、今後一層
の重要性が求められる時代が
来ているのです。

薦福林

宝慶寺で行われる法戦式に、
幾度か随喜をさせていただ
いている。法戦式の終盤では、
両班・尊宿・導師が首座のた
めに短い句(祝語)を贈る。

法戦式の祝語に耳を傾けて
いると、度々、宝慶寺の山号
と同音異句である薔苳(梔子
の別称)の二字が入れられて
詠まれることがあつた。

『維摩経』には、「舍利弗よ、
如し人、瞻蔔林に入れば、唯
だ瞻蔔を嗅ぎ、餘香を嗅がず」
(薔苳の林に入れば、ただその
(薔苳)の香りを嗅ぐだけで他
の香りを嗅ぐことはない)と
ある。この一節に含まれてい
る薔苳は、仏門のことを譬え
た語句である。それならば薔
苳の香りを嗅ぐことは、叢
林に入り修行に徹することを
意味している。つまりこの一
節には、修行に徹すれば煩惱
の入る余地すらなくなるこ
と、即ち仏道の真面目なこと
が説かれているのである。

このように、宝慶寺の首座
に対して薔苳の二字が入れら
れて詠まれることは、この叢
林で一刹中を全うした首座を
讃嘆しているからである。

(秀貞)

法戦式を終えて



七月二十日にこの夏制中の首座法戦式を執り行いました。七月にはいつてから大衆一如で練習を繰り返して、なんとか形にすることができたと思います。経験不足の私が首座に任命され、制中の運営にしても法戦式の段取りにしても常に混乱を招いておりましたが、堂長老師をはじめ山内一人ひとりの寛容さと協力のおかげで、無事やりおえることができました。

首座位を拝命して以来、周りの人々の対応もガラリと変わり、私自身は別段偉くもないのに、山内の大事な仕事を段取り、指示していかねければならないことに重圧を感じました。それでも「人のおだてには乗るものだ」という堂長老師のお言葉を思い出しながら、首座の位のために、その役を演じることが自分の務

めだと考えて努めました。この制中の数多くの行事の中でも首座法戦式は最大の山場でした。経験豊富な他の雲水たちと比して、私は参加二回目でしたから、無理やり練習につき合わせてしまったようです。

慣れない中啓の扱いと、複雑な差定に戸惑いながらも修行し終えたときは、肩の荷が半分下りたような思いがしました。何かと大変なことは多かったのですが、この制中と法戦式を通じて何か少し成長できたような気がしています。(G・S)

上座中学校参禅



八月二十三日、中学三年生とPTA合わせて六十一名の団体でした。

初めて、坐禅指導をしたので緊張しました。来山された時に驚いたのは、仏教の文化が根付いているのか、しつかりと合掌をして、皆挨拶をしてくれました。

無事、焼香が終わり、両班に分かれて座つて頂いたところで、参禅係の説明が始まりました。生徒達は、「足が痛い」と言いながら坐禅の型を調べ、次に呼吸を調べて静かに坐布上につきました。

皆、呼吸が安定して、とても静かで落ち着いた時間でした。

長谷寺様団参

六月二日に永平寺東京別院長谷寺様十六名が団体参拝にこられました。東京の町なかと違いう、緑に囲まれた静かな修行道場の様子に感銘を受けておられました。その一方で、参加者全員で唱えられた本山仕込みの厳かな読経と整然とした法式の様子は宝慶寺にはないもので、強い印象を残していただきました。



新到紹介



福井県御誕生寺徒弟 山田宗俊士
今年の四月二十九日に上山しました。大野市托鉢中、見事な門のあるお宅に行きました。

門を通つて中に入ると、仏像が西側に安置されていて、庭は石が配置され山水の清らかなさを醸し出していました。

仏教者の一人として、慈悲を感じざるを得なく、又、その心情を形にしうる方々に、尊敬の念を抱きました。この事を忘れずに、日々精進してまいります。

合掌



宮崎県仏心寺徒弟 狩野修道士
今年の五月十八日に、宝慶寺へ上山しました。

朝夜の坐禅は、谷川の音や、鳥やひぐらしの声を聞き、この環境に感謝しつつ日々修行に励んでおります。

徐々に宝慶寺での修行生活にも慣れてくるので初心を忘れず、この宝慶寺で、行持を勤めていこうと思っております。合掌

……日曜参禅会のお知らせ……

宝慶寺専門僧堂では、一般の方を対象とした月の第一日曜日に日曜参禅会を毎月、行っています。年内に開催される月日は次の通りです。

10月4日・11月1日・12月6日

いずれも、朝10時からの予定です。年齢・性別・坐禅経験の有無は問いません。

初心者の方に対しても懇切丁寧に指導をいたしますので、興味のある方は是非、ご参加下さい。ご不明な点は、宝慶寺までお尋ね下さい。

……安居者募集のお知らせ……

永平寺につく曹洞第二の道場・宝慶寺専門僧堂では、坐禅と辨道法を中心にした修行を行っています。

安居は随時、受付けております。ご不明な点は、宝慶寺までお尋ね下さい。

〒912-0434 福井県大野市宝慶寺1-2
電話 0779(65)8833 FAX 0779(65)8103

眼蔵会開かれる

六月二十二日、二十六日午前中まで、祇高老師による眼蔵会が開講されました。

二十二日の午前に開講諷経がありました。午後からは、應供台において『正法眼蔵』諸法実相の巻の御提唱がはじまりました。山内は交代で典座当番に入るなど工夫し、できる限り拝聴させて頂きました。



「三千礼拝行」を行ってみませんか

今、心から懺悔して新しい出直しをしましょう。

- ・十一月二十一日(土)〜二十三日(月)
- ・募集人員 十五名 (僧俗共に可)
- ・申し込み期限 十一月十五日(日)
- ・上山は二十日(金) 二十時まで
- ・下山は二十三日(月) 十七時以降

この修行は通例、授戒会(集団で一般の方々が佛弟子となる儀式)や嗣法(僧が師から仏法を正式に伝授される儀式)の時に Rowe されます。

データシステム参禅

六月十六日から十八日にかけて、データシステム様の参加者の中からは、坐禅や一つ一つの作法、食事の時の箸の置き方まで決まっている日常すべてが修行であり、自分自身が一分一秒も逃さず真剣に見つめていることを感じました。

今までの自分はこのままで真剣に自分自身を見つめることがあったのだろうかと考えました。そんなことは一度か二度くらいしかありませんでした。

と、寺での修行体験が強く印象に残っているようでした。また、今日の体験から、日常と



は違う環境の中に身を投じ、逆に日常の時の尊さに気付くことができ、とても気分が清々しくなりました。日常的に坐禅を行い、日々自分自身を見つめ気分をリフレッシュしていきたいです。

と、今後も坐禅を生活の中に取り入れてみたいという感想も頂きました。

宝慶寺の末寺をめぐる①

大溪山曹源寺 (天野市明倫町二一八)

開創時期は、天正十三年と伝えられている。土橋(旧地名。現在の市街地に相当)にあった真善庵が曹源寺の前身とも言われているが、詳細は不明である。元々は、瑞祥寺の北に位置しており、その時の伽藍は岫慶寺と隣接していたという(岫慶寺所蔵「小栗重勝寄進状」)。このことは、「寺町名寄帳」の記述からも窺える。

慶安年間のはじめに、四世慶隆和尚が現在地に移転させたようである。この場所には、朝倉義景が自刃した六坊賢松寺跡とする説がある。(講師補) 宝慶寺世代との関係 (カッコ内の数字は宝慶寺の世代数) 開山柏英以隣(20)、二世梵芸(21)、三世晃龍(22)、四世徳慶慶隆(24)、五世月心義山(26)、二十五世仏山戒麟(46)、二十九世赤稍龍麟(47)、三十二世活水頑龍(51)



お寺に来る犬その12

シロが消えた!!

昨年の十月(開山忌)中旬までは、宝慶寺からいこいの森周辺を子どもとパトロールをしていたのは明らかである。しかし、冬も間近になった十一月頃から、宝慶寺の餌場のあたりに、ほとんど座っているようになった。

声かけをしても、今までのようには反応が鈍くなったのである。この冬、ほんとうに越せるのかみんなで心配をしていたのだが、本格的に冬に入る十二月には、もう姿を見せなくなりました。いつもの杉の大木の陰で休んでいるのだろう。冬が明けたら、また出てくるだろうとかすかな期待をもっていたのだが……。春が来て、夏を迎えている今、



合掌 (S・I)

山内日鑑より

(五月)
八日 楞伽会啓建
入制土地堂念誦
九日 修道士上山
奉賛会総会
二十四日 山内摂心(〜六月五日)
(大野市文化会館)
三十日 永平寺東京別院長谷寺様
(十六名) 来山
(六月)
二日

十六日 日曜参禅会
データーシステム様(八名)
参禅(〜十八日)
ドイツ人・アメリカ人
参禅者来山
十九日 善勝十世慈雲龍光大和尚
四十九日 眼蔵会(〜二十六日午前迄)
鳥取森福寺様他(二十名)
来山
(七月)
三日 上庄・篠原保育園様(園児
十二名・職員三名) 来山
四日 五箇自然の会様(十三名)

五日 来山
日曜参禅会
大野市商工会議所
青年部様(四十名) 来山
十七日 夏期集中講義
法戦式(午後)
二十日 日曜参禅会
福井市棚経
白山拝登(貢安土擁廣土)
台湾法爾禅学会様
四日 日曜参禅会
三十一日 日曜参禅会
六日 楞伽会満散
(二十六名) 団参

主な山内予定行持

(十月)
三日 富田・阪谷小学校様
(四十六名) 団参
四日 東部民生委員会主催
日曜参禅会
十一日 開山忌(〜十二日)

七 解制土地堂念誦
八 大野市棚経(〜九日)
九 関西棚経
十 棚経
十一 ボーイスカウト福井
二十二(約三十名) 団参
二十三 上庄中学校様
(六十一名) 団参
(九月)
三 ミルコン様(十名)
参禅研修(〜五日)
六 日曜参禅会
二十六 祖山七十七世瑞岳廉
芳(丹羽)禅師二十三
回忌
二十八 御遺誠宣読式
二十九 人權学習会

銀盃裏

此の度から、宝慶寺だより編集に加わらせて頂きました。十月は一大イベントとして、開山忌があります。気付けば、だよりを拝読する側から編集の側になったので、少々戸惑っておりますが御山内の方々や他の御寺院様に御教授頂きながら日々、精進して参ります。(D・I)

開山忌のご案内
御開山八山754年記念
併修：古刹宝慶寺万灯会法要

10月11日(日)

14:00 施主供養
15:00 当山前副監事(善勝十一世慈雲(滝沢)龍光)大和尚速夜諷経
御開山特為猷湯諷経(お速夜)
17:00 薬石
17:30 沖繩伝統芸能奉納(南風ファミリー)
18:30 大施食会/万灯会(みたままつり)
19:30~ 法話 ヴィクトリア・ブライアン講師
(オックスフォード大学仏教学研究員)
【観音様について】
21:00 (講義終了後、講師との討論会)



10月12日(月)

9:00 施主供養(十一面小観世音菩薩開眼式)
10:00 当山前副監事(善勝十一世慈雲(滝沢)龍光)大和尚正当諷経
開山忌正当諷経/山門施食会/祝膳

*施主供養をご希望の方は早めにご連絡下さい。*宿泊ご希望の方も事前にご連絡下さい。

送迎車があります

越前大野駅 → (三番通り)新鮮館 → イトウ文具店前 → (木本)元宇野商店前 → 宝慶寺
11日 [12:30発][14:00発]の2便 12日 [8:00発]の1便

希望者をご連絡下さい。(TEL0779-65-8833)

お帰りは両日とも全日程終了後、宝慶寺出発致します。都合により、早めにお帰りになりたい方は応相談。

参拝者の声

◇長い間の願いがかないまして、無事、参拝することが出来、うれしく思います。(茨城県・夫妻)
◇その昔、高校生時代、ここで宿泊をしました。本当になつかしく、今日訪ねました。とても整理されていて、ビックリしました。縁がきれいで、心安まります。(豊川市・女性)
◇大切な人とお参りさせて頂きました。ありがとうございます。(野々市市・女性)
◇来年も必ず来ます。
◇初めてお参りさせて頂きました。お寺らしいお寺に感銘致しました。(金沢市・男性)
◇「白山単独越冬」を読み、深く感動し、伊藤さんゆかりの地をめぐり歩いて、本日宝慶寺さんにお参りする事ができました。すばらしいお寺に心が洗われました。これでよかったです。(坂井市・女性)

二十三日 人權学習(〜二十四日 大乗寺にて)
(十一月)
一日 日曜参禅会
五日 福井鉄道株式会社様
九日 愛知第一梅花流師範会
様(三十名) 団参
二十日 三千拜礼拝行(〜二十三日)
(十二月)
一日 山内臘八摂心会(〜八日)
六日 日曜参禅会
八日 釈尊成道会
三十日 除夜の鐘